

イエス^{さま}様への プレゼントの^{やま}山

「主よ、どのプレゼントを^{さいしょ}最初に^あお開けに^{しゅ}なりたいたですか？」
天国では、雪を^{ゆき}かぶった^{きょだい}巨大なクリスマスツリーを^{まえ}前にして、
天使が^{てんし}イエス様に^さたずねていました。ツリーの下に^つ積まれた
プレゼントの^{やま}山は、ほとんどツリーと同じ^{おな}大きさ^{おお}になっています。

「子供達からのプレゼントを^{さいしょ}最初に^あ開けよう。」と、イエス様が^{こた}答えました。

すると、ツリーの下からイエス様の方^さに向かって、プレゼントが
と^と飛び出してきました。まるで、^あ開けてもらいたがっているかのようです。

うでの^{なか}中に^と飛びこんできたプレゼントを^う受けとめると、イエス様が
^い言いました。「これは^{なに}何かな？」

すると、箱の^{なか}中^{ひか}が^{はこ}光りました。「きれいなプレゼントだ！」
そう^い言いながら、箱の^{なか}中^{はこ}を^みすがして^{えい}見ると、まるで映画の
スクリーンに^が画像^{うつ}が^だ映し出されるように、^{ちい}小さな^{おんな}女の子^こが^{あか}赤と
^{みどり}緑の^{ほぞなが}細長い^{かみ}紙切れを^{つく}つなげて^みくさり^{つく}を作っているのが見えました。

★★★

「お母さん、どう^{おも}思う？ これ、ツリーに^つ付けたらきれいだと
おも^{おも}うんだけど。」8才の^{はつさい}エミリーが、^{りょうて}両手^{りょうて}いっぱい^みの^いカラフルな
くさり^みを見せて^い言いました。

「そうね、きれいな！ とっても^{じょうず}上手に^{しゅ}できたじゃない！」
ていねいに^{つく}作られた^みくさり^みを見て、お母さんが^{こた}答えました。



エミリーは、わくわくしながら言いました。「家中にクリスマスの
がざりつけをするには、まだまだやる ことが たくさん あるわ。明日は、
お父さんとお母さんの 知り合いの 宣教師さん達が 来られるでしょ。
だから、特別な ものにしたいの。この くさを 作り終えるには、
もっと 紙を 取ってこないと。」

エミリーは ろうかを スキップして いましたが、角を 曲がると、
モールを 持って 歩いていた 7才の 弟の レイに ぶつかって
しまいました。二人とも しりもちを ついて、びっくりした 顔で
おたがいを 見合わせました。

エミリーは 思わず、おこって 何か 言いそうになりましたが、
レイは エミリーを 助け起こして 大きな ハグを くれました。
「だいじょうぶ？ 前 見て 歩いてなくて、ごめんね。」

「わたしは だいじょうぶ。レイは？」と、エミリーも
言いました。

「ほくも だいじょうぶだよ。それに、イエス様に また ハグの
おくり物を あげちゃった！」レイは、朝 いっしょに 読んだ
「イエス様への おくり物」を 思い出して 言いました。

「私も、イエス様に おくり物を あげたいわ。」そう 言って、
エミリーも レイに ハグを しました。「私も 気をつけてなくて、ごめんね。」

（イエス様に おくり物を あげるのって、楽しいな!）と、エミリーは
思いました。

★★★

天国では、一つの プレゼントの 箱が 閉まると、もう 次の
プレゼントが 開けてもらおうと 並んで 待っていました。

★★★



紙のくさをクリスマスツリーにかけながら、エミリーは、
お父さんとお姉ちゃんが学校のコーラス部と一緒に公民館で
クリスマスキャロルを歌っていることを思い出していました。

エミリーは祈りました。「イエス様、どうぞ、お父さんとクリスティンが、
クリスマスキャロルを通してイエス様の愛で人々を元気づけられますように。」

(お祈りも、イエス様へのおくり物だものね。) そう思いながら、エミリーは
にっこりしました。

エミリーがツリーのガザリつけを続けていると、赤ちゃんの妹が
泣くのが聞こえました。お母さんが電話に出るために部屋を
出ていったので、そばにはだれもいなかったのです。

エミリーは歩行器の前にすわって、赤ちゃんをしがりつけました。
「泣くのをやめなさい!」すると、赤ちゃんのキオーナは、
ますますはげしく泣き始めました。

(うーん。歌を歌ってあげたら泣きやむかな。)

エミリーは歌を歌い、即興でダンスをしました。すると、
赤ちゃんのキオーナは泣きやみ、にこにこし始めました。

★★★

天国では、まだまだプレゼントが積まれていきます。

「すてきなおくり物だ。尊いプレゼントばかりだ!」
プレゼントを次々に開けながら、イエス様は興奮して
言いました。



「エミリーの^{いの}祈りの おかげで、お父さんとお母さんが
公民館で^{こうみんかん}大勢の^{おおぜい}人達を^{ひとたち}元気付けられたばかりが、
5人の^{にん}人達が^{ひとたち}わたしを^{じんせい}人生に^いむかえ入れる^{いの}祈りを
したぞ。それに、帰り道では^{かえ}子供病院に^{みち}寄って、
おもちゃとクリスマスの^{はなし}お話の本を^{ほん}あげたね。
他の^{ほか}人達に^{ひとたち}わたしの^{こと}ことを^{つた}伝えてくれると、
本当に^{ほんとう}うれしいよ！ それで、わたしのツリーの^{した}下が
プレゼントの^{やま}山になってるんだね。

「子供達が^{こどもたち}くれたプレゼントは、みんな^{つき}次の
プレゼントとつながっていて、それが^おどんどん
増えてくるんだ！」その日、イエス様に^{さま}おくり物を
くれた^{ひとり}一人一人の^{ひとり}子供の^{こども}ことを^{かんが}考えながら、
イエス様は^{さま}興奮して^{こうげん}言いました。

天国の^{てんごく}クリスマスツリーの下に^{した}積まれた
プレゼントの^{やま}山が^{おお}どんどん大きくなる
様子^{ようす}に見えながら、イエス様は^{さま}子供達の^{こどもたち}
心に^{こころ}ささやきました。「わたしの^{たんじょうひ}誕生日を
こんなに^{とくべつ}特別な^{もの}ものにしてくれて、
ありがとう。君達が^{きみたち}くれる^{ひと}一つ一つの
プレゼントが^{だいす}みんな、大好きだよ。
プレゼントを^う受け取るたびに、
わたしも^{きみ}君たちに^{もの}すばらしいおくり物を
お返しするって^{かえ}約束するからね。」

